

箱根の「ナラ枯れ」その後 箱根ビジターセンター

「ナラ枯れ」とは、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によってコナラやミズナラなどドングリのなる木が集団で枯れる現象(感染症)で、その記録は江戸時代の文献にも見られます。

2017年8月、県内では初めて箱根湯本で確認されて以降、現在も北上を続けているようです。2020年には箱根全域に被害が拡大し、梅雨明けの山肌が点々と赤茶色になっていました。ドングリの木を頼りに生きている動物達は大丈夫?とても心配です。特に箱根の高標高地に自生するミズナラの大径木は、その多くが枯れてしまいました。今では新たなナラ枯れの被害木より白く立ち枯れた木が目立ちます。それでも、自力あるいは人々の努力でナラ枯れを乗り越えたドングリの木も少なくありません。

ところで、ナラ枯れによる「枯れ木」には色々なキノコが発生しています。落枝や倒木に注意しながら観察してみてもいかがでしょうか? ただし、毒キノコで有名な「カエンタケ」には触らないように、くれぐれもお気を付けください。

(執筆:石原)



明星ヶ岳のナラ枯れ



ナラ枯れに耐えたアカガシ



シロキクラゲ



カエンタケ

【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。

箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebookページ公開中! QRコードから最新の情報をご覧ください。



箱根ビジターセンター



秦野ビジターセンター



西丹沢ビジターセンター

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター
Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター
Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

県立西丹沢ビジターセンター
(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

事故ゼロで楽しい登山を！ 秦野ビジターセンター

気温や湿度が低下し、登山に心地良い季節がやってきました。紅葉や色づく木の実などを眺められるのは秋の楽しみの一つです。一方、日没が早くなったり、落ち葉で登山道が分かりにくくなるといったリスクが伴うのも秋山登山の特徴です。秋から冬にかけては、道迷いや下山時の転倒・滑落などの遭難が増える傾向にありますので、十分ご注意ください。



丹沢でも一番人気の山、大山の登山道

さて、西丹沢ビジターセンターとの合同企画として特別企画展「丹沢登山の基礎知識2022～遭難事例から学ぶ～」を秦野ビジターセンターにて12月4日まで開催しています。警察署のご協力を得て、遭難事例から遭難の傾向を読みと、安全登山に役立ててもらおうという内容になっています。事故ゼロで楽しい登山を楽しむために、是非、展示を見にいらしてください！

(執筆:長澤)



落ち葉で埋もれた登山道

見つけてみよう！ フィールドサイン 西丹沢ビジターセンター

本格的な秋の登山シーズンが到来し、みなさんが野山を歩く機会もいっそう増える季節となるのではないのでしょうか？普段は登山道の脇に咲く草花などを眺めたりしながら、登山を楽しまれている方が多いのではないかと思います。みなさんはフィールドサインという言葉をご存知でしょうか？

それは森の住人である動物たちが山中に残した足跡や食事をした跡、フンなどといった「生活していた痕跡」のことです。実際に野生の動物たちと出くわすことはそう容易いことではありませんが、フィールドサインを知ることによって、どんな動物がそこで暮らしているかを推測することが出来るようになります。「この足跡は何だろう？」とか「これは何のフン？」などと思いながらも素通りしてしまうことが多いのではないかと思います。是非これを機に、森の探偵気分フィールドサイン探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(執筆:深谷)



ニホンジカの足跡



リスの食痕



テンの糞